

3月定例教育委員会会議 議事録

平成30年3月29日  
午後3時30分開会  
さんくす3番館4階大会議室

出席委員

原田勝 教育長  
大谷佐知子 委員  
安達友基子 委員

谷口学 教育長職務代理者  
和泉愼次 委員  
福田知弘 委員

出席説明員

羽間功 学校教育部長  
岸上孝司 学校教育部次長教育総務室長兼務  
落俊哉 地域教育部次長  
橋本健一 保健給食室長  
前田隆男 青少年室長子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長兼務  
中井建志 指導室参事  
角田睦 教職員課参事

服部高佳 教育委員会事務局理事(学校教育部担当)  
島田雅弘 学校教育部次長指導室長兼務  
野田健司 教育政策室長  
大江慶博 教育センター所長  
沖田孝行 教育政策室参事  
植田聡 教職員課長  
杉山裕幸 教育政策室係員

記録者

宇山聡 教育政策室主査

### 3月定例教育委員会会議 議事録

午後3時30分 開会

原田勝教育長

ただ今から3月定例教育委員会会議を開催いたします。

署名委員に谷口委員を指名いたします。

記録者に宇山聡範教育政策室主査を指名いたします。

本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。

沖田孝行教育政策室参事

本日の傍聴席の設置可能数は5席でございます。現在傍聴希望者はいらっしゃいません。

原田勝教育長

それでは、本日の傍聴は5人まで許可したいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、本日の傍聴は5名まで許可します。

議事に先立ちまして、教育長職務代理者の指名を行います。

教育長職務代理者の指名につきましては、一部改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項により、教育長職務代理者を教育委員会委員のうちから、教育長があらかじめ指名することになっております。

平成30年3月29日をもちまして、現教育長職務代理者である谷口委員の委員就任任期が満了となりますが、吹田市議会におきまして、教育委員会委員として再任されましたので、引き続き谷口委員を教育長職務代理者として指名させていただきます。

谷口委員、よろしく申し上げます。

それでは、議事日程に従いまして、日程第1 議案第12号「吹田市教育委員会事務局職員の人事発令について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

岸上孝司学校教育部次長教育総務室長兼務

日程第1 議案第12号「吹田市教育委員会事務局職員の人事発令について」御説明申し上げます。

議案書の次のページを御覧いただきますようお願いいたします。

まず、市長事務部局出向の3名につきましては、定年退職又は依願退職のため、平成30年3月31日付けで市長事務部局へ出向発令をするものでございます。

なお、出向発令を受ける職員につきましては、出向後、市長事務部局におきまして、同日付けで退職発令が行われます。

次に、定年退職の12名、依願退職の4名につきましては、教育委員会採用の職員でありますことから、平成30年3月31日付けで教育委員会において退職発令を行うものでございます。

以上、よろしく御承認賜りますようお願い申し上げます。

原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

全委員  
原田勝教育長

異議なし。

異議なしと認め、議案第12号「吹田市教育委員会事務局職員の人事発令について」を承認します。

次に、日程第2 議案第13号「吹田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

岸上孝司学校教育部次長教育総務室長兼務

日程第2 議案第13号「吹田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について」御説明申し上げます。

議案書から2枚めくっていただき、現行・改正案対照表を御覧いただきますようお願いいたします。

改正内容につきましては、これまで附属機関の公印の保管及び使用に関する取扱いは規定されていませんでしたが、このたび市長事務部局において規定することとなったため、教育委員会においても同内容を規定するとともに、所要の規定整備を行うものです。

以上、原案どおり御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

原田勝教育長  
全委員

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、議案第13号「吹田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について」を承認します。

次に、日程第3 議案第14号「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果の概要について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

中井建志指導室参事

日程第3 議案第14号「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果の概要について」御説明申し上げます。

実技調査の概要です。全国値を50としたTスコアで比較しております。

5年生男子は、立ち幅跳びはやや上回っており、上体起こし・50m走はほぼ同じ。反復横跳び・20mシャトルラン・ソフトボール投げは、やや下回っており、握力・長座体前屈は下回っております。

5年生女子は、立ち幅跳びはやや上回っており、上体起こし・50m走はほぼ同じ。長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルランはやや下回っており、握力・ソフトボール投げは下回っております。

「登り棒や雲梯などの遊具での遊びや学習活動の少なさ」、「ボールを遠くに投げる遊びや学習活動などの経験不足」は、昨年同様、まだまだ改善されていないと考えられます。

中学2年生男子は、反復横跳びはやや上回っており、持久走・20mシャトルランはほぼ同じ。上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅跳びはやや下回っており、握力・ハンドボール投げは下回っております。

中学2年生女子は、反復横跳びは上回っており、長座体前屈・持久走・20mシャトルラン・立ち幅跳びはやや上回り、上体起こしはほぼ同じ。握力・50m走・ハンドボール投げはやや下回っております。

反復横とびや20mシャトルランは、小学校では全国値に及ばないもの

の、中学校では男女とも全国値を上回っています。

また、女子が全国値をこえる種目が多くなっているのは、小学校において課外クラブ活動での運動経験をもつ生徒が多いことも要因のひとつとして考えられます。

一方で、握力や遠投力が低いことは小・中とあわせて課題であり、経験不足が大きく関わっていると考えられます。

次に、児童生徒質問紙調査結果についての概要です。

「1週間の総運動時間の状況」、続いて、「総運動時間」と「運動が好きか否か」の関係性、また、「運動が好きか否か」と「授業が楽しい」の関係性について分析し、体育授業との関連を検証し、今後の方針の見直しを図りました。

中学生になると、運動を全くしないと答える生徒の割合が著しく増加しています。このことから、運動に多くの時間を費やすことを選択しなかった生徒にとっては、数少ない運動機会となる体育授業が、体力向上に結びつく活動となるように、小・中での継続的な授業づくりが必要であると考えられます。

そこで、授業づくりの観点での調査結果からは、「ふり返る活動」があまり行われていないことが分かりました。他教科と同様に、授業の始めに「目標を示す」と合わせて、一人ひとりが授業での目標達成を実感できるように、授業の終わりに「ふり返る活動」を組み立てることにより、意欲の向上を図ることができるのではないかと考えられます。

また、「助け合う活動」「話し合う活動」は、運動ができるようになることと強く結びついていることも分かります。集団で関わり合って学ぶ場を設定することも、意欲の向上に有効であると考えられます。

最後に今後の方針です。調査結果から、児童・生徒の体力は運動に対する意識調査や運動習慣と相関関係があり、学校における体育の指導とのつながりも見られます。

全市的な傾向・課題を踏まえると子どもたちの体力向上を図るためには、教員の授業マネジメント、指導力等の向上が必要であります。

平成27年度策定の「体力向上につながる主な視点」の「②体育授業の質的向上」に、活動のふり返りを行うことで、学習成果を実感できる機会を設けること、「⑤各校の体力向上P D C Aサイクルの確立」に、各校の児童生徒の実態を踏まえた「体力づくり推進計画」の策定に努めること、などを追記しました。

各校での日々の体育授業実践や授業研究等と共に、小学校教育研究会体育部会（学研体育部）と連携し、副読本説明会や実技研修等、授業力向上につながる取組の継続した実施に努めるとともに、家庭・地域と手を携えながら、学力向上とともに、体力向上に向けた教育活動の充実・発展を図ってまいります。

なお、平成30年度 大阪府の児童・生徒体力・運動能力調査につきましては、千里丘北小学校・山田東中学校が、抽出調査校として選ばれたと

の通知を大阪府教育庁 教育振興室 保健体育課から受けております。

以上でございます。

原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

谷口学教育長職務代理者

運動能力というのは色々なことが関係していて、家庭や地域との協力も踏まえた上でやっていかなければならないという中で、吹田の子供たちが握力やソフトボール投げに関して結果がずっと悪い状態です。

各幼稚園、小学校での雲梯の配置状態等を調べた経過も今までであったと思うのですが、そういう経過を見て行ってもなかなか上手く伸びて行かないことに関して、吹田の子供たちの体力を伸ばしてやると、特に弱い所の握力に関して今後伸ばして行く方法として、案、もしくは検討課題等がありましたらお教えいただいて、次年度に引き継いでいきたいと思うのですが、

中井建志指導室参事

握力の向上に関しましては登り棒や雲梯などの遊具での経験が有効であると考えます。体育の授業で、遊具で遊ぶ楽しさを経験させることで、日常的に子供たちが遊具に触れて遊ぶことによって、握力がついてくるのではないかと、そのためにも先程も申しましたが、学研体育部と協力しまして、副読本を活用して、子供達が自ら遊具で遊ぶような環境を作りたいと考えております。

原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、議案第14号「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果の概要について」を承認します。

次に、日程第4 議案第15号「大阪府公立小・中・義務教育学校任期付校長について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

植田聡教職員課長

日程第4 議案第15号「大阪府公立小・中・義務教育学校任期付校長について」御説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案書に参考資料としまして、「平成30年度大阪府公立小・中・義務教育学校任期付校長募集要項」がございますので、ご覧ください。

大阪府 公立小・中・義務教育学校 任期付校長の制度は、大阪府教育委員会が府内の公立小・中・義務教育学校において魅力ある学校づくりをすすめるため、組織をまとめるマネジメント力と教育に対する熱意を持ち、柔軟な発想や企画力を活かした学校運営や学校の課題を解決できる優れた人材を幅広く募集し、選考するものであり、いわゆる民間人校長の制度でございます。

この制度の活用につきましては、事前に府教育委員会から市町村教育委員会に意向調査があり、平成31年度に配置を希望する市町村教育委員会を明らかにしたうえで、公募にかけるというものです。

ちなみに、平成30年度任用に向けましては、府内で4市、それぞれ小学校1名ずつの募集に対し、各市それぞれ12名から14名ずつの応募が

あり、2市で1名ずつ合格したとのことでございます。

本市の平成31年度当初の状況につきましては、平成30年度末（来年度末）の定年退職予定の校長が、小学校で11名、中学校で6名の合計17名でございます。多くの退職者が見込まれておりますが、すでに校長選考を合格し、今後、校長として任用を予定している教頭及び教育委員会事務局内の選考合格者と新規の再任用校長を複数名任用することで、何とか充足する見込みでございます。

事務局といたしましては、小中一貫教育を基盤とした児童・生徒の「学び」や「はぐくみ」を支える指導体制の構築や学校の実情に応じた特色ある学校づくりの推進、さらには全市的なビジョンで地域と協働し学校経営を進めることのできる人材を学校管理職として配置していきたいと考えております。

吹田という地域で特色ある学校を創造していくためには、吹田のなかで、地域に根差し、学校教育を支えてきた、熱意と能力を兼ね備える優秀な人材から、まずは、学校経営を任せてまいりたいと考えております。従いまして、平成31年度任用の大阪府公立小・中・義務教育学校任期付校長につきましては、希望しないとの意向を持っております。御審議のうへ、御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第15号「大阪府公立小・中・義務教育学校任期付校長について」を承認します。

次に、日程第5 議案第16号「平成30年度吹田市立学校教職員の永年勤続表彰について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

日程第5 議案第16号「平成30年度吹田市立学校教職員の永年勤続表彰について」御説明申し上げます。

吹田市立学校教職員の永年勤続表彰につきましては、吹田市教育委員会表彰規則第3条第1項第3号の規定、及び吹田市立学校に勤務する府費負担教職員の永年勤続表彰の取り扱いについての細則に基づき、本市教職員として勤続満25年に達した者であって、勤務成績が良好である者を対象としております。

被表彰者の名前、所属、職名につきましては、恐れ入りますが、議案書の次ページの平成30年度永年勤続表彰該当者名簿をご覧ください。所属及び職名は平成30年3月31日現在のものとなっております。

以上、簡単な説明でございますが、御審議のうへ、御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第16号「平成30年度吹田市立学校教職員の永年勤続表彰について」を承認します。

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

植田聡教職員課長

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

沖田孝行教育政策室参事 恐れ入りますが、追加議案を1件、提出をさせて頂きたいと存じますので、よろしくお取り計りいただきますよう、お願い申し上げます。

原田勝教育長 ただ今、追加議案の提出の申し入れがされましたが、議題とすることに御異議ございませんか。

全委員 異議なし。

原田勝教育長 異議なしと認めます。

それでは、追加議案につきまして、追加日程第1として議題とすることといたします。

それでは、議案を配布してください。

— 追加議案を配付 —

原田勝教育長 ただ今提出されました追加議案の審議にあたりまして、本件は人事案件ですので、吹田市教育委員会会議規則第5条ただし書きの規定により、秘密会としますが、御異議ございませんでしょうか。

全委員 異議なし。

異議なしと認め、本件を秘密会とします。

— 秘密会 —

原田勝教育長 それでは、これをもちまして本日の議事日程を終了いたしましたので、3月定例教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時53分